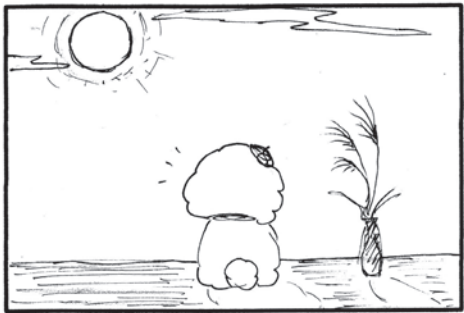


マリンちゃん とまつ
名月や〇 ゆうこ



マリンのブログも見てね。「マリン記者」で検索。

草軽電鉄廃線直前の写真 60 点展示 「当時の服装、建物も楽しんで」

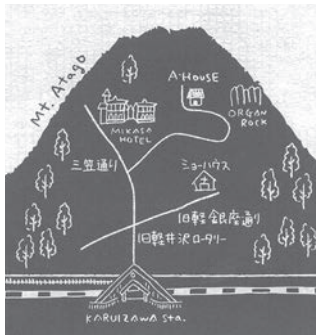
東京都世田谷区の自営業小林隆則さんが9月10日から24日まで、旧草軽電鉄北軽井沢駅舎で写真展「草軽高原を往くー北軽井沢・草軽電鉄の時代ー」を開く。小林さんの鉄道趣味仲間や、仲間の遺族から借り受け、約60点の写真を展示する。新軽井沢ー上州三原間が廃止になる直前の1960年1～4月、長野原町エリアで撮影された写真が中心だ。小林さんは、8才のとき雑誌で見た草軽電鉄に一目惚れ。高校生になって軽井沢から草津まで、廃線跡を歩いたことも。



「マニアの方が見ても珍しい写真がある。当時の人々の服装、建物なども一緒に見てほしい」と小林さん。C

森を未来へ残し、交流する ナショナルトラスト運動 D

米国人が持っていた愛宕山山頂の15000坪を買い取って豊かな森を残そうと、NPO法人「愛宕山てっぺんの森を守る会」が発足し、活動の輪を広げている。「愛宕山は幾つかの神社があり、昔から親しまれてきた場所。既に動植物の生態も調査しました。『親子森の教室』などを開催し森を愛する人を育てていきたい」と代表の加藤正文さん。



ボランティアを持続させるために「人と自然と産業」を組み合わせた運営を図り、交流の場を作りたいと意気込みを語った。年会費3000円～。TEL090-3106-4644

Scenery of Karuizawa



作：越智雄二
1918年愛媛県出身。画家。軽井沢に滞在し、浅間山や風景を数多く描いた。

軽井沢発、豪商の館で 江戸時代の食文化を体験するツアー

北信濃屈指の豪商といわれた田中本家で、江戸時代の料理を当時の陶器や漆器などで味わうツアーが開催される。田中本家は蔵の街・須坂市で、江戸中期に穀物や菜種油、煙草などの商売を始め、幕末には士分として認められた。田中本家に代々伝わる江戸時代の接待古文書に記された料理を味わえる貴重な機会となりそうだ。軽井沢駅発着で田中本家での食事と見学をするほか、清右衛門蔵「塩屋」で伝統的な味噌・醤油の製造なども見る。



料金 22,000円（交通費・食事代・見学科・保険代込）。問合せは 050-3576-2396（軽井沢トラベル&コンサルティング）または軽井沢新聞社（0267-46-3001）。

ランチバイキング

毎日 11:00～15:00
800円（中学生以上）
400円（小学生）
未就学児無料



食べ放題
飲み放題

パン全品
コクうまカレー
スープ
サラダ
コーヒー



タイムセール

毎日 17:00～18:00

全品 30%OFF

全品試食できます。

※カットなどはスタッフまでお申し付け下さい。

コーヒー無料です。



石窯でじっくり
焼き上げます



イートイン
コーナー
あります



〒384-0011 長野県小諸市赤坂1-8-1

☎0267-31-6403

営/9:00～18:00 水曜定休

アルフォルノ 小諸 検索

無農薬、自社農園で栽培した小麦を使用
からだに優しい石窯パンの店
「アルフォルノ」
無農薬・無化学肥料でオー
ガニック農法を実施。パン
専用の小麦、「ゆめちから」、
「キタノカオリ」を自社栽培、
自社製粉してパンを作りま
す。特製石窯でゆっくりと
焼上げた安心・安全なパン
を提供します。

